

新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドライン

川崎市麻生区少年野球連盟

会長 鈴木孝之

新型コロナウイルス感染症について、現段階で得られている知見を基に、行政と上部団体から出されている感染拡大予防ガイドラインを参考に、川崎市麻生区少年野球連盟の感染予防対策方針として作成したものです。

■参考資料

- ・ JSBB 感染予防対策ガイドライン改訂版（6月4日改訂）
- ・ JSBB「健康チェックシート」
- ・ スポーツイベント再開に向けた感染拡大予防ガイドライン改訂版（概要）
- ・ スポーツイベント再開に向けた感染拡大予防ガイドライン改訂版（5月29日改訂）
- ・ スポーツイベント開催・実施時の感染防止策チェックリスト改訂版
- ・ 学校施設有効活用事業利用の手引き（7月14日版）

1. 大会（練習試合）参加時の感染予防対策

（1）大会（練習試合）への参加者の事前注意事項

- ・ 参加者は検温を実施し球場に来ること。
- ・ 大会参加者は自宅から球場まで移動時、必ずマスクを着用すること。
- ・ 大会事務局は、大会役員、スタッフ、審判員の出席を確認、参加者の健康状態を確認し、健康チェックシートに記載し保管すること。
- ・ 来場チームは、選手、監督、コーチ、スタッフ、保護者等の自チームの出席を確認、参加者の健康状態を確認し、健康チェックシートに記載保管し、大会事務局に控えを提出すること。
- ・ 以下の病状が確認された方および当日の体温が基準値を超えた方は参加を認めない。
 - 1) 咳・鼻水など風邪の病状がある方、倦怠感・息苦しさの病状が有る方。
 - 2) 臭覚・味覚異常のある方。
 - 3) 当日の体温が37.5℃以上の方および当日の体温が平熱より1℃以上高い方。
 - ・ 14日以内に感染者との接触や濃厚接触者と特定された方。
 - ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされた方。
- ・ 大会参加者は、各自水筒かペットボトルを持参し、頻繁に水分補給して熱中症防止対策を十分に行うこと。
- ・ 大会期間中、チーム内（同居家族含む）に感染者が確認された場合、当該チームの出場辞退大会の中断もしくは、中止することがある。

(2) 試合開催時共通の注意事項

- ・試合開始前の攻守決定時は、監督、主将および捕手はマスクを着用する。その時の審判員もマスクを着用する。挨拶時の握手は行わない。
- ・試合時の大会事務局側ならびに審判員からの諸注意をチームに伝える場合は、各マスクを着用して行うこと。
- ・グラウンド内に入場および退場する場合、人と人との距離を1m以上確保して入退場すること。(ベンチ内の入れ替えなどに十分配慮し、密集・密接にならないように時間配分すること。)
- ・選手はグラウンド入場後、マスクを外し外野での練習を行う。その際は、選手間の距離を1m以上確保すること。
- ・用具点検を行う審判員は、消毒を施してから行うこと。
- ・試合中は、熱中症リスクを考慮し、グラウンド内でプレーする選手、ランナーコーチおよび塁審のマスク着用は義務付けない。但し、球審はマスク着用が望ましい(天候により判断する)
- ・ベンチ内では監督、コーチ、スコアラー、代表、マネージャー、給水係はマスク着用し、一定間隔を保つように努力すること。
- ・試合開始および終了時の選手挨拶は、ベンチ前に一列に整列し、球審の合図で挨拶する。(ホームベース前に整列することを行わない)
- ・監督が選手に指導するときは、マスク着用し、密集・密接にならないように1m以上離れた位置で指導を行うこと。
- ・審判員は給水を各自用意し、近場に保管しイニング間で給水を取ること。(本部、ベンチからの給水は行わない)
- ・応援者については、観客席が「密」にならないように、一定の距離を確保しマスク着用して観戦すること。また、大声を出す応援は控えること。
- ・各チームは、手洗い用の石鹸、消毒液等を準備すること。
- ・飲食は、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにすること。
- ・グラウンド退場後は、各チーム速やかに解散すること。

(3) 試合開催時共通の注意事項 (ベンチワーク)

- ・選手の使用するタオルを濡らすときは、バケツの水を共有で利用しない。
- ・水分補給のための回し飲みやコップの共用をしない。
- ・タオルや飲み物道具の共用をしない。(やむおえない場合は使用前後に消毒をする)
- ・試合中、共用し使用するヘルメット、バットなどは出来るだけ除菌液等を塗布し、清潔状態を維持すること。
- ・試合および練習において、選手が密集・密接する円陣や声出し応援歌などを歌う行為は、行わない。
- ・選手は試合中、握手、ハイタッチ、グータッチ等を行わない。
- ・試合中、マウンド上に集合して話をする際は、グラブを口に当て、距離を確保する。
- ・グラウンド内における唾、痰を吐く行為は厳禁。

(4) 試合開催時共通の注意事項 (運営)

- ・大会運営スタッフは、開場前に会場消毒をしっかりと行うこと。
- ・チーム入れ替えの際、ベンチ、バットケース等共用部分の消毒を行うこと。
- ・消毒液を各ベンチに準備し、定期的に補充すること。
- ・大会本部が3密にならないように事前に参加チームや審判へ注意事項を連絡すること。
- ・大会関係者(大会役員・審判技術委員など)が、各会場で感染防止対策ができて
いるか巡回し、必要に応じて注意喚起をすること。

2. 球場の感染予防対策

麻生区野球連盟では、現在使用している片平公園野球場と虹ヶ丘少年野球場において感染予防対策として以下の取り組みを実施しております。

(1) 各球場に感染予防対策の掲示物を常設

観戦にご来場されるお客さまへのお願い



川崎市麻生区少年野球連盟

麻生区少年野球連盟では、公益財団法人全日本軟式野球連盟の「JSBB感染予防対策ガイドライン」に基づき、下記の対応をご来場されるすべてのお客さまにお願いすることになりました。

新型コロナウイルス感染症が終息に向かい、かつ安全に野球観戦ができるように皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

必ずマスクの着用を
お願いします

周囲との距離
(できるだけ2m以上)を確保
してください

大きな声での応援・会話は
ご遠慮願います

検温等体調を十分に
確認の上ご来場ください

(2) 大会開催中、コロナ対策監視員による、試合観戦者への注意喚起。

(3) 各球場水道に、手洗い用ハンドソープ、両ベンチ・バックネット裏本部に、アルコール除菌剤の常備。

(4) 各球場本部に、非接触型体温計の常備。

